

平成28年度 社会福祉法人日本点字図書館 事業報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

《重点項目》

はじめに

障害者差別解消法と改正障害者雇用促進法が年度当初に施行され、障害者に対する配慮の必要性が社会の各方面で認識され始めた。それに伴い、公的機関を中心に、視覚障害者への情報保障についての意識の向上が見られ、当館においては、試験問題、学習資料、会議資料などの点訳や録音の受注が増加した。点字製作課では、そうした変化に加え、豊富な経験を有する点字製版士の急逝などの痛手が重なり、業務の確実な遂行を維持するための対策を続ける必要があった。そのような状況の中で、7月に実施された参議院選挙の点字版と録音版の選挙広報の製作では、制約条件の厳しい業務を、全国の関係施設と連携して無事に成し遂げた。

一方、平成28年度は、図書提供のシステムの整備とコンテンツの拡充に取り組んだ。4月末から5月には、当館が管理する電子図書館システム・サピエの抜本的な改修を行い、大手ソフトウェア企業の協力を得て、安定的に稼働するシステムを実現した。10月には、テレビ・デイジーの貸出を当館の独自事業として開始し、好評のうちに多くの利用が続いている。テレビ・デイジーは、NHKテレビの音声解説付き番組の録音をデイジー編集して製作する、新たな種類の録音資料である。また、視覚障害者用図書の形態として、今後の普及が期待できるテキストデイジーの効率的な製作でも十分な成果を上げた。

このように、当館に求められる役割がますます多様化する一方で、国等の委託費や補助金が年々減額されている。そこで、寄付等の増収や当館の知名度の向上を図る必要があることから、公報関連活動に従来に増して力を注いだ。その一つとして、これまでとは異なる大きな規模のチャリティコンサートを企画し12月に開催し、1,200名を超える方々にご来場いただくなど一定の成果を得た。また、いずれも他の法人との共催で、視覚障害者のための用具を対象とする第1回アイデアコンテストを9月に、当館の用具事業開始50周年を記念する式典を11月にそれぞれ実施し、当館の存在と事業の意義を社会に向けて示す機会となった。

当館が指定管理者を務める川崎市視覚障害者情報文化センターでは、地元を対象に続けてきた種々の取り組みの成果として、図書利用登録者数が、開所以来初めて400名を超えた。

重点事業について

1. 障害者差別解消法施行に対応した製作体制の整備

平成 28 年度は、障害者差別解消法の施行に伴い、国や地方公共団体等からの資料の点字化の依頼が増大した。これに対応するために、製版室の人員を嘱託職員で 1 名増員したほか、UD 推進室の校正担当パート職員を嘱託職員として採用し直すなどの措置をした。年度の途中で病気療養に入る職員があったことなどから、かなりの業務負荷になる状態が続いたが、現場が努力を重ねた結果、納期の遅れを出さず、また、精度の高い点訳業務を行うことができた。なお、28 年度は、点字と音声の併用についての問い合わせも増え、それへのアドバイスをを行ったほか、対応体制の検討を進めた。

2. 「アクセシブルな電子書籍の製作実験プロジェクト」の推進

前年度に引き続き、製作実験プロジェクトの運営を担当し、テキストデイジーの短期間での製作を約 550 タイトル行った。これに使用したシステムは、今後も当館がテキストデイジー図書を大量に製作するために必須のものであるが、システムを保守・管理している国立国会図書館は、継続して使用するためには他施設の参加が必要である旨を表明している。そこで、複数の施設に利用への参加を呼び掛け、その結果新たに 2 施設が加わることになった。また、興味を示した施設からの依頼で、テキストデータ製作を代行してデータを提供し参加の検討を促している。

3. 音声・マルチメディアデイジー製作用 Web アプリケーションの実用化

マルチメディアデイジー教科書の製作と、シネマ・デイジー、及びテレビ・デイジーの説明用アナウンスの製作のために、このアプリケーションの実用を開始した。また、これを普及するための取り組みとして、全国 7 か所で教員・支援者等合計 161 名を対象に講習会を開催した。それを受講した教員や支援団体がこのアプリケーションで教材製作を始めた事例があるほか、導入に興味を示す自治体も現れている。平成 29 年度以降も、運用と並行して改良と事業化に向けた取り組みを継続する。

4. サピエサーバ類のリプレイスと安定的稼働

平成 28 年 4 月 28 日～5 月 17 日に、サピエの機器更新の工事を行った。事前に、更新作業の段取りと動作試験の方法について業者と入念に打ち合わせを行ったほか、一般オープン前に外部のいくつかの施設や個人に最終チェックを依頼するなど、動作確認を十分に行う体制を整えたうえで、本番に臨んだ。作業も動作試験も順調に進み、幾つかの軽微な問題についてはオープン前に対処することができた。長期間の停止後の再開時にはアクセスが集中してページの移動やダウンロードに時間がかかるといったトラブルの発生が常であるが、今回は再開後に大きな問題はなく、リプレイスした機器が十分な処理能力を持っていることを確認できた。機器の維持を一社（日立システムズ）に委ねていることから、今後、スムーズな保守・管理が可能になるものと期待できる。

5. 地域リハビリテーション事業の検討

平成 29 年度に相談支援事業と自立訓練（機能訓練）事業を開始することを決定し、そのための準備を進めた。近隣の関係施設や専門家との交流を図り、事業の認可申請や実施体制の整備についての情報提供や助言を受けた。また、職員 1 名が「東京都相談支援従事者

初任者研修」を受講して相談支援専門員の資格を、役員1名が「東京都サービス管理責任者研修」を受講してサービス管理責任者の資格Aを、それぞれ取得した。

6. 防災・減災対策の推進

職員や来館者を対象とする防災イベントを1月に開催し、起震車による強い揺れの体験やAED(自動体外式除細動器)の使用体験の機会を提供するとともに、専門家による講演を実施して、防災意識の向上を図った。また、避難用テントなどの災害時備品を購入し、非常事態に備える体制の整備を進めた。

I 《社会福祉事業》

視聴覚障害者情報提供施設の設置経営及び全国の視聴覚障害者情報提供施設に関する連絡事業

[利用サービス]

1. 図書情報提供サービス

(1) 重点事業

① 利用者ニーズに即したサービスの提供

利用者の読書環境・ニーズに合わせ、点字図書・録音図書による貸出、パソコンや携帯電話によるサピエ図書館のコンテンツ配信を行った。また、利用者自身が用意したSDカード等に、職員が代行してサピエ図書館からコンテンツをダウンロードするサービスについては、7万タイトルを超える過去最大の利用があった。特に、毎年夏と年末に2回実施している、テーマに沿った25タイトル程度を、1枚のSDカード等に収めて提供するセレクトパックサービスが大変好評であった。

そのほか、NHKより許可を得て、音声解説付きのテレビ番組の音源を活用してデイジー編集した「テレビ・デイジー」の提供を10月より開始した。利用希望者にはCDでの貸出や、SDカード等へのコピー提供を行った。なお、毎月発行している「にっぺんデイジーマガジン」を利用して積極的な広報を行ったことで、映画の音源を活用してデイジー編集した「シネマ・デイジー」を凌ぐ利用実績があった。(※2016年度実績 受入:13タイトル 利用:約1,000回)

この当館オリジナルのサービスを利用するために新規登録した人や、登録はしていても、長年利用していなかった人が利用を始める傾向が見られた。

② テキストデイジーパックサービスと合成音声によるデイジー(CD)の提供

短期間で製作できるアクセシブルな電子書籍(テキストデイジー)の利用促進のため、自館製作のテキストデイジーの新刊を月単位でまとめ、利用者自身が用意したSDカード等にコピーして提供する「にっぺんテキストデイジーパックサービス」を行った。しかしながら、前年度同様にパソコン等で利用者自身が直接サピエ図書館を利用する場合は大きく伸びているのに対し、媒体利用中心の利用者には伸びにはつながらなかった。(実利用者数:48人)

また、テキストデイジーを合成音声で読み上げさせ、音声デイジー図書として製作している団体より音源を入手し、偶数月に発行している新刊案内「にっぺんボイス」

にて、CDとして毎回3タイトル程度を蔵書に受け入れて貸出を行った。利用者からは、概ね合成音声に対する抵抗感や大きなクレームはなく、教養図書を中心に387回(前年度112回)の利用があった。

(2) サービスの実態

	平成 28 年度	平成 27 年度
① 利用登録者数	12,323 名	13,062 名
(新規登録者数)	369 名	413 名
(点字使用者数)	6,421 名	6,909 名
利用登録者が減少した主な理由について		
・長年利用していた人たちが高齢により逝去、または読書ができない状況となった。 (この理由が全体の約80%)		
・転居先不明。		
・サピエ図書館が普及し、地方で当館を利用していた人たちが、地元の点字図書館や公共図書館を利用し始め利用登録の更新をしなかった。		
② 点字図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)	21,084 タイトル	21,222 タイトル
(冊数)	79,371 冊	79,499 冊
蔵書数の変化 (新収書)	689 タイトル	803 タイトル
(除籍書)	2,016 冊	2,120 冊
(除籍書)	2,144 冊	3,058 冊
貸出数 (目標 8,000 タイトル)	7,980 タイトル	8,207 タイトル
(内 他館借受)	30,365 冊	31,639 冊
(内 他館借受)	521 タイトル	458 タイトル
(内 他館借受)	1,971 冊	1,816 冊
点字図書ダウンロード提供	1,126 タイトル	1,264 タイトル
(内 他館借受)	4,134 ファイル	5,035 ファイル
③ 録音図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)	17,374 タイトル	16,575 タイトル
(巻数)	45,314 巻	47,947 巻
蔵書数の変化 (新収書)	925 タイトル	894 タイトル
(除籍書)	4,502 巻	4,097 巻
(除籍書)	7,135 巻	1,356 巻
貸出数		
(ア) カセットテープ	500 タイトル	654 タイトル
(ア) カセットテープ	3,261 巻	4,201 巻
(イ) CD図書 (目標 130,000 タイトル)		
(イ) CD図書	118,382 タイトル	130,047 タイトル
(イ) CD図書	119,218 枚	131,127 枚
(内 他館借受)	13,168 タイトル	15,035 タイトル
(ウ) カセットテープ雑誌	186 巻	236 巻
(エ) CD雑誌 (にってんデイジーマガジン含む)		
(エ) CD雑誌	84,368 枚	84,949 枚
デイジー図書コンテンツダウンロード提供 (目標 60,000 タイトル)		

(ア) SDカード	52,648 タイトル	37,952 タイトル
	*内、テキストデイジー図書ダウンロード提供	
	170 タイトル	266 タイトル
(イ) CFカード	18,999 タイトル	15,024 タイトル
④ にってんデイジーマガジン (目標 6,500 名に配布提供)		
(ア) 個人配布 (CD)	6,372 名	6,555 名
(イ) 団体配布 (CD)	257 団体	259 団体
(ウ) 年間配布数 (CD)	78,809 枚	80,142 枚
(エ) サピエ図書館年間延べ利用	16,176 名	21,762 名
⑤ インターネット配信・サピエ図書館による資料の提供 (当館分)		
(ア) データのアップロード		
書誌データ	新規	1,291 件
	更新	4,514 件
	削除	258 件
点字データ		149 タイトル
音声デイジー		592 タイトル
テキストデイジー		430 タイトル
マルチメディアデイジー		16 タイトル
(イ) データのダウンロード (点字)		
プリントアウト		53 件
		62 タイトル
		38,328 ページ
		26 件
		35 タイトル
		22,834 ページ
(ウ) 利用者によるダウンロード (当館製作コンテンツ)		
パソコン		
点字データ		21,995 回
音声デイジー		146,259 回
テキストデイジー		39,670 回
マルチメディアデイジー		863 回
携帯電話		
音声デイジー		5,031 回
デイジーオンライン		
音声デイジー		221,508 回
		24,675 回
		148,062 回
		46,153 回
		553 回
6 レファレンスサービスおよび書誌データの整理		
オンライン蔵書目録利用者が当館の蔵書の中から様々な角度からのアプローチで目的の資料を探し出せるよう、当館の目録規則に従った書誌データの整備を行った。		
情報提供件数	79,565 件	87,893 件
情報提供先合計	6,515 件	7,369 件
(内 学生)	1名	1名
(内 社会人)	6,461 名	7,313 名
(内 団体)	53 団体	55 団体
⑦ 点字・録音図書の収集		
点字購入図書	7 タイトル	1 タイトル
点字購入雑誌	14 誌	14 誌

録音購入図書	3タイトル	1タイトル
録音購入雑誌	1誌	1誌

⑧ 利用者サービス部図書情報課による点字図書の製作選定

利用者サービス部図書情報課の選書委員に一部製作選定権を与え、利用者ニーズの高い日本文学(小説)を中心に即時的に点字13タイトル、録音7タイトルを選定した。特に注目されていた「騎士団長殺し 第1部・第2部」村上春樹著については、点字、テキストデイジー、音声デイジー、すべて国内でもっとも速く着手することができた。

⑨ 利用者用目録の製作と提供

- ・点字図書新刊案内「にってんブレイル」
(年6回、点字版1,705部)を編集・発行
- ・録音図書新刊案内「にってんボイス」
(年6回、点字版1,560部・墨字版1,800部・録音版39,742部
計43,102部)を編集・発行
なお、録音版については、「にってんデイジーマガジン」及び「サピエ図書館」
で提供した。
- ・年間追加目録 点字図書2016年版 点字版を編集・発行
CD図書年間追加目録2015年版 デイジー版を編集・発行
- ・蔵書目録の頒布 315部
点字図書 点字版50冊頒布
録音図書 点字版111冊、墨字版8冊、CD版146枚頒布

⑩ 奥村文庫(視覚障害関係墨字資料室)

視覚障害に関わる情報収集を行い、問い合わせに対して適切な資料と情報の提供に努めた。

・視覚障害関係墨字資料の収集	2,317点	1,788点
・利用件数	閲覧 269件	446件
	レファレンス 177件	379件

⑪ プライベートサービス

- ・専門書を対象に事前予約制で対面リーディングサービスを実施した。
(目標:延べ600人)

延べ	549名	639名
利用時間	1,072時間	1,258.5時間
活動ボランティア	53名	57名

⑫ 点字教室・IT教室の開催

(ア) 点字教室(目標:年250回)

開催回数	224回	254回
延べ受講者数	1,063名	1,294名
(新入生)	21名	20名
相談件数	124件	152件

(イ) IT教室

- ・初心者向けクラス(パソコン受講)

開催回数	87回	248回
延べ受講者数	19名	58名
実受講者数	16名	35名

- ・初心者向けクラス（iOS 受講 ※2016 年度より開催）

開催回数	171 回	-	回
延べ受講者数	39 名	-	名
実受講者数	37 名	-	名
- ・初心者向けクラス（パソコン+iOS、両方受講）

開催回数	25 回	-	回
延べ受講者数	5 名	-	名
実受講者数	4 名	-	名
- ・初めてパソコンにふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回までの）の操作体験クラス

開催回数	13 回	15 回
受講者数	13 名	15 名
- ・初めて iOS にふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回までの）の操作体験クラス（※2016 年度より開催）

開催回数	24 回	-	回
受講者数	24 名	-	名
- ・初めて iOS とパソコン両方にふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回までの）の操作体験クラス

開催回数	2 回	-	回
受講者数	2 名	-	名

(ウ) 点字教室修了者の自主活動（点字学習サークル）の支援

- ・多目的室を提供して、読書会などの活動支援と催し物・行事・募集などの情報提供を行った。

開催回数	18 回	20 回
延べ参加者数	306 名	391 名
情報提供回数	18 回	20 回

⑬ サピエ図書館の利用促進

前年度に引き続き、サピエ図書館の利用促進のため、IT 教室体験クラスのメニューの中に組み込んでサービス概要を説明した。その他、来館者や電話、新規利用登録の際にも積極的に説明を行った。

- ・当館を登録館としたサピエ新規個人登録者数 104 名
- ・当館を登録館としたサピエ個人登録者数 1,952 名
- ・当館の東京都在住の個人登録者数 3,527 名

⑭ サピエの安定的稼働と Web 図書館システムの導入・運用支援

サピエサーバ類のリプレース以外で、システムトラブルによる稼働停止など大きな問題もなく、安定的に稼働していたといえる一年であった。

また、Web 図書館システムの導入・運用支援については、導入希望 8 施設に対して、操作講習会を開催しながら、データ移行、稼働後のサポートなどを電話やメールを中心に行った。なお、これで Web 図書館導入希望施設はすべて完了となり、国内の点字図書館などでは全体の 95%が稼働することとなった。

⑮ 学習障害や発達障害など、視覚障害以外の活字読書に困難を抱えた人たちへの録音図書提供

- ・新規利用登録者 5 名（全利用登録者 29 名）

[図書製作]

1. 点字図書・触図等の製作

(1) 点字図書の製作、ボランティアの養成・指導

	平成 28 年度	平成 27 年度
① 発表点字図書数	185 タイトル 829 冊	213 タイトル 905 冊
(ア) ボランティアによる点訳書	150 タイトル 706 冊	179 タイトル 811 冊
(イ) 点字出版図書	35 タイトル 123 冊	34 タイトル 94 冊
② ボランティアの養成・指導		
(ア) ボランティアによる点訳受入実績	185 タイトル 820 冊	221 タイトル 942 冊
(イ) ボランティア数 (年度内点訳・校正実績有)	83 名	95 名
(ウ) 現役点訳者を対象とした点訳技術指導		
延べ実施数	5 回	4 回
延べ人数	79 名	87 名
③ リクエストによる点字図書製作・ボランティア実績 (東京都委託分)		
(ア) 点訳希望者	67 名	150 件
(イ) 点訳者	20 名	13 グループ
		109,957 ページ

(2) 点字図書等の頒布、触図等の製作・監修

	平成 28 年度	平成 27 年度
① プリント図書の頒布	16 件 34 冊 2,796 ページ	18 件 66 冊 7,210 ページ
② 点字プリントアウト・サービス	178 件 60,054 ページ	201 件 53,575 ページ
③ 点字出版図書の頒布	399 タイトル 804 冊	552 タイトル 1,476 冊
④ 点字図書給付事業取扱件数	164 件 292 冊	170 件 347 冊
⑤ 視覚特別支援学校理療教科用図書の頒布		
「医療と社会」点字版	14 件 56 冊	17 件 68 冊
「医療と社会」デイジー版	- 枚	16 枚

「医療と社会」点字版（デイジー版付き）	7 件 28 冊	17 件 68 冊
⑥ 視覚特別支援学校高等部用教科書の頒布		
「SELECT English Expression I」	28 件 84 冊	28 件 84 冊
「MY WAY English Expression II」	5 件 35 冊	5 件 35 冊
「科学と人間生活」	37 件 222 冊	29 件 174 冊
⑦ 文部科学省著作教科書の製作		
特別支援学校中学部視覚障害者用「社会（公民的分野）」（3年生用）	30 件 270 冊	35 件 245 冊
⑧ 自費出版図書の発行など		
「中途視覚障害者のための点字入門」134冊を販売した。		
「ふれる世界の名画集」14冊を販売した。		
幾何学立体教材「いろんなかたちをさわってみよう」3冊を販売した。		
⑨ 団体・企業等からの依頼による触知案内図・点字サインの製作と監修		
公園案内板 各種の製作・監修		
駅施設案内板 各種の製作・監修		

2. 録音図書・録音雑誌・電子書籍の製作

(1) 録音図書の製作、ボランティア実績

	平成 28 年度	平成 27 年度
① 発表録音図書数	544 タイトル 4,577 時間	528 タイトル 4,192 時間
(ア) スタジオ録音による製作図書（朗読・デイジー編集）	181 タイトル 1,642 時間	173 タイトル 1,563 時間
(イ) 録音図書ネットワーク製作システムによる製作図書（朗読・デイジー編集）	339 タイトル 2,935 時間	341 タイトル 2,629 時間
(ウ) シネマ・デイジーの製作（デイジー編集）	11 タイトル	14 タイトル
(エ) テレビ・デイジーの製作（デイジー編集）	13 タイトル	— タイトル

② 録音図書のボランティア実績

(ア) 朗読ボランティア数 (年度内スタジオ録音実績有)	57名	56名
(イ) デイジー編集ボランティア数 (重複あり)	14名	15名
(ウ) 録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア数 (重複あり)	77名	72名

③ リクエストによる録音図書製作・ボランティア実績 (東京都委託分)

(ア) 録音希望者	120名	180件	1,500時間	25分
(イ) 朗読者	32名			
(ウ) デイジー編集者	27名			

(2) 録音雑誌の製作

録音雑誌 月刊「にってんデイジーマガジン」の製作とサピエ図書館への登録

(3) 池田輝子記念文庫製作事業

スタジオ録音及びデイジー編集により、109タイトルの録音図書を製作した。

(4) 電子書籍の製作数

	平成 28 年度	平成 27 年度
① テキストデイジー完成図書	575 タイトル	557 タイトル
② マルチメディアデイジー完成図書	12 タイトル 48 時間	11 タイトル 41 時間
③ 電子書籍のボランティア実績		
(ア) クラウドソーシング型図書校正システムを使った校正実績	645 タイトル 557 名	666 タイトル 557 名
(イ) テキストデイジー編集ボランティア	57 名	52 名
(ウ) テキストデイジーボランティア向け講習	12 回 65 名	3 回 10 名
④ リクエストによるテキストデイジー製作		
(ア) コミュニティサイトによる希望	119件 22名	118件 21名
(イ) プライベートサービスによる希望	5件 2名	14件 8名
⑤ リクエストによるテキストデータ製作		
プライベートサービスによる希望	21件 5名	25件 10名

[委託・補助・助成事業]

1. 厚生労働省委託事業

視覚障害者用図書等事業

	平成 28 年度	平成 27 年度
① 点字図書製作	35 タイトル 9,225 冊	35 タイトル 7,575 冊
② 点字図書貸出	445 タイトル 1,684 冊	572 タイトル 2,028 冊
③ 録音図書製作		
音声デイジー図書	20 タイトル	20 タイトル
マルチメディアデイジー図書	8 タイトル	8 タイトル
④ 録音図書貸出		
音声デイジー図書	1,529 タイトル	1,537 タイトル
マルチメディアデイジー図書	125 タイトル	61 タイトル

2. 厚生労働省補助事業

視覚障害者用図書情報等ネットワーク運営事業（サピエ図書館）

	平成 28 年度	平成 27 年度
① 会員数		
個人	15,206 名	14,380 名
施設	343 ヶ所	312 ヶ所
② 目録タイトル	1,044,642 タイトル	995,189 タイトル
③ 点字データタイトル数	187,416 タイトル 712,410 件	176,636 タイトル 675,384 件
④ 年間点字データアップ数	11,458 タイトル	11,559 タイトル
⑤ 年間点字データダウン数		
個人	627,886 タイトル	706,845 タイトル
施設	27,873 タイトル	31,793 タイトル
⑥ 音声デイジーデータタイトル数	72,556 タイトル	66,053 タイトル
⑦ 年間音声デイジーデータアップ数	9,430 タイトル	9,860 タイトル
⑧ 年間音声デイジーデータダウン数		
個人	2,551,267 タイトル	2,635,569 タイトル
施設	190,572 タイトル	186,919 タイトル
⑨ テキストデイジーデータタイトル数	4,078 タイトル	2,773 タイトル
⑩ 年間テキストデイジーデータアップ数	1,370 タイトル	1,330 タイトル
⑪ 年間テキストデイジーデータダウン数		
個人	165,990 タイトル	156,773 タイトル
施設	4,030 タイトル	4,404 タイトル

⑫ マルチメディアダイジーデータタイトル数	141 タイトル	94 タイトル
⑬ 年間マルチメディアダイジーデータアップ数	63 タイトル	38 タイトル
⑭ 年間マルチメディアダイジーデータダウン数		
個人	4,448 タイトル	2,790 タイトル
施設	492 タイトル	332 タイトル
⑮ 年間音声ダイジーデータストリーミングタイトル数		
個人	665,551 タイトル	717,508 タイトル
施設	9,773 タイトル	9,694 タイトル
⑯ 年間目録検索件数	2,878,233 件	2,706,244 件
⑰ 年間オンラインリクエスト受信数	330,624 件	350,017 件
⑱ 全国の点字図書館・公共図書館等に対する情報提供	79,565 件	87,893 件
内訳（複数提供あり）		
電話	59,032 件	61,311 件
点字・録音・墨字	18,536 件	23,811 件
メール	1,227 件	1,785 件
口答	1,183 件	1,407 件

3. 文部科学省委託事業

文部科学省委託による平成28年度「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」として、以下の事業を実施した。

- ① 文部科学省著作教材『私たちの道徳』点字版4種各450部の製作と配付。
- ② 文部科学省著作教材『私たちの道徳』マルチメディアダイジー版4種各2,000部の製作と配付。
- ③ 配付教育機関等へのアンケートの実施。

4. 東京都委託事業

(1) 東京都視覚障害者用図書製作貸出事業

- ① 点字図書の製作・貸出

(ア) 製作	プリンタ図書	37 タイトル	(168 巻×2部複製)
(イ) 貸出		273 タイトル	1,371 冊
- ② 声の図書の製作・貸出

(ア) 製作		55 タイトル	(56 枚×5部複製)
(イ) 貸出		3,419 タイトル	3,479 枚
- ③ 希望図書の製作

(ア) 点訳希望者		67 名	150 件	109,957 ページ
(点訳者	20 名	13 グループ)		

(イ) 朗読希望者	120名	180件	1,500時間25分
(朗読者	32名	編集者	27名)

(2) 東京都視覚障害者用図書レファレンスサービス事業

視覚障害者、施設・団体に対する情報提供数	25,937件
内訳(複数提供あり)	
電話	19,907件
点字・録音・墨字	4,887件
メール	240件
口答	969件

5. 東京都補助事業

東京都からの補助金を得て、都内貸出事業を実施した。

6. 川崎市視覚障害者情報文化センター運営委託事業

平成28年度は開館から3年目を迎え、より多くの川崎市の視覚障害者に利用してもらえるように取り組んできた。なるべく多くの視覚障害者にセンターのことを知ってもらえるようにコンサートやセンターまつりなどのイベントを積極的に開催した。図書の利用者数は約1割増え、訓練事業の利用者も増えている。また、点字図書・音声図書の製作は昨年同様、順調に行うことができた。特にDVD映画の音声ガイドの製作では昨年度養成講座を開き、本年はそのボランティアにより3タイトルを製作した。

(1) 閲覧・貸出

	平成28年度	平成27年度
① 利用登録者数	424名	382名
(新規登録者数)	42名	29名
(点字使用者数)	117名	116名
② 利用登録団体	264施設	249施設
③ 点字図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)	2,737タイトル	2,564タイトル
(冊数)	10,086冊	9,447冊
蔵書数の変化 (新収書)	136タイトル	143タイトル
	415冊	463冊
貸出数	287タイトル	250タイトル
	981冊	730冊
(内 他館借受)	40タイトル	42タイトル
	116冊	81冊
(雑誌)	324タイトル	319タイトル
④ 録音図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)	4,983タイトル	4,629タイトル
(枚数)	5,013枚	4,630枚

蔵書数の変化（新収書）	181 タイトル 181 枚	175 タイトル 175 枚
貸出数		
（ア）カセットテープ	22 タイトル 111 巻	27 タイトル 108 巻
（イ）CD図書 （内 他館借受）	10,543 タイトル 6,973 タイトル	11,956 タイトル 9,061 タイトル
（ウ）カセットテープ雑誌	60 タイトル	75 タイトル
（エ）CD雑誌	4,799 タイトル	4,851 タイトル
デジター図書コンテンツダウンロード提供		
（ア）SDカード	757 タイトル	736 タイトル
（イ）CFカード	299 タイトル	174 タイトル
（ウ）CD	0 タイトル	6 タイトル
⑤ レファレンスサービス情報提供件数	75 件	70 件

（2）資料製作

① 点字図書の製作数（ボランティア数）		
（ア）委託製作数	17 タイトル 73 冊	13 タイトル 70 冊
（イ）委託外製作数	29 タイトル 116 冊	33 タイトル 127 冊
（ウ）寄贈	30 タイトル 80 冊	21 タイトル 64 冊
（エ）プライベートサービス	21 タイトル	38 タイトル
② 録音図書の製作数（ボランティア数）		
（ア）委託製作数 朗読	61 タイトル	51 タイトル
デジター編集	97 タイトル	104 タイトル
（イ）委託外製作数	36 タイトル	53 タイトル
（ウ）寄贈	17 タイトル	3 タイトル
（エ）プライベートサービス	9 タイトル	6 タイトル
③ テキストデジター図書の製作数	6 タイトル	2 タイトル
④ シネマ・デジター・音声ガイドの製作数		
（ア）委託製作数	15 タイトル	15 タイトル
（イ）センター内製作数	3 タイトル	2 タイトル

（3）点訳ボランティア、朗読ボランティアの養成

① 点訳ボランティアスキルアップ研修会		
開催回数	2 回	2 回
受講者数	80 名	52 名
② 朗読ボランティアスキルアップ研修会		
開催回数	4 回	2 回
受講者数	10 名	38 名

③ 音声ガイド養成講座	開催回数	- 回	8 回
	延べ受講者数	- 名	88 名
	実受講者数	- 名	11 名

(4) 訓練事業の取り組み

① 訓練者数	訓練者実数	77 名	65 名
	(新規訓練者数)	20 名	32 名
内訳 (複数提供あり、契約を結ばない短期訓練も含む)			
	生活訓練	8 名	8 名
	歩行訓練	38 名	41 名
	パソコン訓練	15 名	10 名
	点字訓練	9 名	5 名
	ハンドライティング	0 名	1 名
	その他	3 名	0 名
	相談	150 名	66 名
② 用具の展示と販売紹介	展示点数	360 点	370 点
	販売紹介点数	1,233 点	1,314 点

(5) 啓発普及

① 事業報告会等の開催			
7 月	視覚障害者訓練事業説明会	参加者数	17 名
1 月	麻生市民会館(出前センター)	参加者数	40 名
② 体験会の開催			
5 月	盲導犬歩行体験会	参加者数	5 名
7 月	多摩区社会福祉協議会主催 「子供たちの歩行体験会」	参加者数	20 名
	視覚障害者用 PC ソフト体験会	参加者数	7 名
10 月	多摩区社会福祉協議会主催 「視覚障害について 対応、誘導の仕方」	参加者数	15 名
11 月	南大師中学校 白杖歩行体験会	参加者数	100 名
1 月	盲導犬歩行体験会	参加者数	6 名
2 月	出張音声ガイド付き DVD 体験会	参加者数	15 名
③ 訓練生交流会		開催数 10 回	
		延べ参加者数 50 名	
④ イベントの開催			
5 月	「かわさき春のコンサート」	来場者数	120 名
6 月	読書会「本日は大安なり」	来場者数	8 名
9 月	キルギス友好コンサート	来場者数	170 名
12 月	読書会「とんび」	来場者数	6 名
	「かわさき冬のコンサート」	来場者数	160 名
1 月	視覚障害者防災イベント	来場者数	20 名
2 月	センターまつり	来場者数	160 名
	音声ガイド付き体験上映会	開催数 12 回	延べ来場者数 440 名

歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」

開催数 6回 延べ来場者数 81名

7. 省庁・自治体からの委託・補助による事業

(1) 東京都消費生活総合センター

CD版「東京くらしねっと」の作成及び配布 6回 4,840部

(2) 東京都教育庁委託事業

高等学校教科用点字図書製作及び提供 305巻 31,560ページ

(3) 和歌山県教育庁委託事業

高等学校教科用点字図書製作及び提供 40巻 2,541ページ

(4) 各市区町村委託事業

① 「しんじゅくの教育」 点字版製作及び配布 4回 154部

② 「さっぽろ市議会だより」 点字版製作及び配布 4回 920部
音声版 1,000部

8. 公的機関・団体・企業等からの委託及び助成・補助による事業

(1) 中央共同募金会

① 埼玉県民共済生活協同組合

点字図書9タイトル、録音図書9タイトルを製作・貸出

② 全国労働者共済生活協同組合連合会

点字図書2タイトル、録音図書2タイトルを製作・貸出

(2) 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団

国際視覚障害者囲碁大会 東京大会の開催助成 (6/25 出場者39名)

(3) 社会福祉法人NHK厚生文化事業団

① 「ラジオ文芸館」8タイトル、「古典講読」等、全12種類(音声デイジー版)の受入貸出

② 「NHK障害福祉賞入選作品集」テープ版を10組、音声デイジー版を60枚製作

③ 国際視覚障害者囲碁大会 東京大会の開催助成 (6/25 出場者39名)

(4) 社会福祉法人読売光と愛の事業団

① ロービジョン機器等相談事業の実施

(ア) 見えにくさの相談会

全5回(4/23、8/20、10/22、12/17、2/18 計31名参加)

(イ) ロービジョン機器取扱者研修会と機器貸出セット長期貸与の実施

【研修会】全2日(6/2、6/3 6施設計 延べ17名(10名)参加)

「白杖の使い方と拡大読書補助具類の選び方」

講師：国立障害者リハビリテーションセンター学院

視覚障害学科 主任教官 小林章氏

「ロービジョン支援者へのメンタルヘルスケア」

講師：先端医療センター病院 診療部
再生治療ユニット 眼科 心理カウンセラー 田中桂子氏

「便利グッズの使い方」

講師：日本点字図書館事業部用具事業課担当職員

【機器貸出セット長期貸与】

岩手県立視聴覚障がい者情報センター 35点を貸出

(ウ) 職員研修 「ロービジョン支援のヒント」

講師：国立障害者リハビリテーションセンター学院

視覚障害学科 主任教官 小林章氏

全1回（3/24 計45名参加）

(エ) ロービジョン向けグッズの充実

新型の携帯型読書器、リニューアルされたルーペ等、283件 1,790点を貸出

② 専門対面リーディングサービス事業の実施 利用者数 549名

③ 点字ディスプレイ清華 V3Pro の購入助成 2台購入

(5) 公益財団法人 J K A

「障害を持つ人が幸せに暮らせる社会を創る活動」として、録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」を月1回年12回製作・発行

配布先：利用者「にってんデイジーマガジン」に収録して配布

点字図書館 合計 984枚

ハンセン病施設 合計 156枚

(6) 公益財団法人鉄道弘済会

録音雑誌「ブックウェーブ」を月1回年12回製作・配布（「にってんデイジーマガジン」に収録して配布）

(7) 公益財団法人東京都人権啓発センター

機関誌「TOKYO人権」マルチメディアデイジー版を年4回製作、CD200枚複製、サピエ図書館で配信

(8) 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

中学校数学教科書マルチメディアデイジー版を3タイトル製作

(9) 公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団

点字カレンダー39,416部の製作

(10) 公益財団法人原田積善会

録音雑誌の複製機器の購入助成

(11) 公益財団法人パブリックリソース財団

点字・録音図書製作のための原本購入

(12) 公益財団法人早川清文学振興財団

「ハヤカワライブラリー」10タイトルを製作し、166ヶ所へ配布（計1,850枚）

- (13) 公益財団法人一ツ橋綜合財団
- ① 録音図書「一ツ橋文庫」10 タイトルを製作・貸出
 - ② テキストデイジーの製作・提供
 - ③ マルチメディアデイジー教材製作システムの普及・ユーザビリティ向上
(講習会開催数8回、参加者合計180名)
- (14) 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団
- 国際視覚障害者囲碁大会 東京大会の開催助成 (6/25 出場者39名)
- (15) 公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会
- ① 福祉車両の寄贈
平成27年度助成、平成28年度納車(点字図書輸送トラック)
 - ② 視覚障害者向け録音雑誌収録スタジオで使用する音響調整卓の更新
大スタジオ用デジタルミキシングコンソール1台、パワーアンプ2台
DAWソフトウェアの助成
- (16) 公益信託久保記念点字図書援助基金
- iPad Pro、iPhone7、iPod touch の購入費の助成
- (17) 一般財団法人NHKサービスセンター
- 点字版「NHKウイークリーガイド」(週刊)を週1回、年52回発行
- (18) 一般財団法人日本児童教育振興財団
- 新規事業テレビ・デイジー製作のための機器整備費の助成
HDDレコーダー2台、音声編集ソフト 2個、アンテナ工事費一式
- (19) 一般財団法人日本宝くじ協会
- 点字図書4タイトル、録音図書(音声デイジー)3タイトル、録音図書(マルチメディアデイジー)3タイトルを製作・貸出
- (20) 一般財団法人日本メイスン財団
- テキストデイジー図書60タイトルを製作・提供
- (21) 一般社団法人全国腎臓病協議会
- 機関紙「ぜんじんきょう」CD版を668枚複製・配布
- (22) 一般社団法人日本アマチュア無線連盟
- 「点字JARL・NEWS」を年4回、520冊製作
- (23) 株式会社岩波書店
- 岩波新書等のデイジー版を製作・貸出
- (24) 株式会社佼成出版社
- 「立正佼成会会報」(月刊)のテープ版を4,306巻、CD版を4,111枚複製
- (25) 株式会社資生堂
- 季刊録音雑誌「おしゃれなひととき」を合計485枚製作・配布・サピエ図書館で配信、
「ってんデイジーマガジン」に収録・配布

- (26) ソニー株式会社
新製品情報「聞くカタログ 第 54 号」を製作・サピエ図書館で配信、「にっぺんデイズマガジン」に収録・配布
- (27) 宝印刷株式会社
見学者向け「事業のご案内」パンフレットの製作助成
- (28) 東京日本橋ライオンズクラブ
国際視覚障害者囲碁大会 東京大会の開催助成 (6/25 出場者 39 名)
- (29) 株式会社トーハン
256 タイトル、291 冊の原本及び資料提供を受け、点字・録音図書を製作・貸出
- (30) 株式会社ニッポン放送 第 41 回ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会
① 録音図書のデイズ編集製作に係る経費の助成
② 立体コピー機の寄贈
- (31) 株式会社文藝春秋
録音雑誌「声の文藝春秋」を月 1 回年 12 回製作・配布(「にっぺんデイズマガジン」に収録して配布)
- (32) 前田建設工業株式会社
① 点字作図機の購入助成
② シネマ・デイズ図書 3 タイトルの製作・配布
- (33) 三菱商事株式会社
ロービジョンクリニック及び歩行訓練士用サポートグッズ購入に係る助成

II <<公益事業>>

盲人生活用具の開発と普及及び国際視覚障害者情報提供協力事業

1. 視覚障害者用具の販売斡旋

	平成 28 年度	平成 27 年度
(1) 取扱商品点数	892 点	892 点
販売斡旋数	97,331 点	99,042 点
(2) 新商品 (新規取扱商品)	40 点	54 点
(3) 海外諸国への輸出件数	8 件	12 件

主な新商品：六兵衛茶碗、音声認識人形おしゃべりみーちゃん、携帯型拡大読書器ルビーHD 7 インチ、合ピタカップ、ザルバットン、3 ポケットがまぐち小銭入れ、ダッタカモ文明の謎、フラッシュハーフボール、ポケットトークDA208、ロービジョンマグカップ&プレート

主な輸出国：台湾、韓国、モンゴル、フランス

主な販売商品：白杖、触読腕時計、音声腕時計、振動式時計、ソロバン、N632 小型点字器、だいてん丸、マスコットブレイル、ビジュアルイーズ、白黒反転ノート、ピンポン玉、バレーボール、オセロゲームなど

(4) 体験会・展示会

① 各種機器体験会の実施	47回	61回
② 展示会への出展	15ヶ所	13ヶ所
③ 用具商品の貸出展示 (貸出先：点字図書館、小学校、視覚障害関係施設、眼鏡店など)	18回	28回
④ ゲーム会の開催 どうぶつしょうぎ大会1回、クリスマスゲーム会1回	6回	6回
⑤ 補装具・日常生活用具制度の説明、各種相談会開催	6回	4回
⑥ 東京女子医科大学眼科外来3階待合室にて相談コーナー参加	6回	-回

(5) インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ」の運営

① 会員数	4,081名	3,637名
② 新規会員数	455名	516名
③ 受注件数	5,449件	5,606件
④ 受注商品点数	31,369点	31,341点

(6) インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ Yahoo! 店」の運営

① 新規会員数	713名	454名
② 受注件数	830件	502名
③ 受注商品点数	1,228点	852点

わくわく用具ショップのサーバをASP版に移行し、メルマガの一括送信、配送指定などのカスタマイズを行い、運営の安定と利便性を向上させた。

(7) 広報の充実

- ① 新商品情報誌「ニュー用具タイムズ」を年4回製作。(4月、7月、12月、2月)「にってんデイジーマガジン」、「サピエ図書館」にコンテンツを提供した。
- ② 「ホームライフ」の「わくわく用具タイム」のコーナーで、新商品を8回紹介した。
- ③ インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ」会員に対して、メルマガを配信し、新商品のお知らせやイベントを紹介した。
- ④ フェイスブックを活用した広報を行い、新商品の紹介、体験会やイベントの紹介などの投稿を19回行った。
- ⑤ 日本盲人社会福祉施設協議会用具部会の一員として、第43回国際福祉機器展H. C. R. 2016に出展し、来場した介護の現場で働く方々に対して施設を利用する視覚障害者の不便さを説明し、それを解決する商品の紹介やサポート方法を案内した。

(8) 川崎市視覚障害者情報文化センターとの連携

用具事業課で行う日常生活体験会を川崎市視覚障害者情報文化センターの歩行訓練士の協力のもと6回行った。

(9) 企業CSRとの連携

- ① 東京海上日動安心110番株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社、三菱鉱石輸送株式会社、株式会社アートコーヒーによるCSR活動の一環であるボランティア活動において、用具事業課で使用する点字シールや封筒を製作していただいた。用具事業課からは、会社のランチタイムを利用したセミナーへ赴き、視覚障害者に街で出会った時のサポート方法や点字について説明し、視覚障害者への理解を深めていただいた。
- ② 三菱商事株式会社のボランティア活動協力により304,000円のご寄付をいただいた。このご寄付により、眼科医や歩行訓練士とともにロービジョンのかたへ紹介するグッズを購入した。これは、近年話題となっている中間型アウトリーチ（医療と福祉の中間地点でのサポート）の一助となるものである。また、昨年度のご寄付で作成した子供用の点筆を全国の特別支援学校へ配布した。

2. 厚生労働省委託事業

	平成28年度	平成27年度
盲人用具販売あつ旋事業	15種 22,505点	16種 23,581点

3. 池田輝子ICT奨学金事業

池田輝子基金により第13回池田輝子ICT奨学金事業を実施した。

- 実施期間： 中級コース 平成28年7月9日～7月23日
 上級コース 平成28年7月24日～8月6日
- 実施場所： ペナン(マレーシア) セント・ニコラスホーム
- 講師： Mr. Wong Yoon Loong
 Mr. Fandy Dawenan
 Mr. Aris Yohanes Elean
- 講習生： 18名（中級10名、上級8名）

4. アジア盲人図書館協力事業

一般社団法人霞会館の助成によりコンピュータ点字製作技術指導講習会を実施した。

- 実施期間：平成28年10月16日～22日
- 実施場所：キルギス共和国盲人リハビリテーションセンター
- 講師：Ms. Christina Anne Lau Mei Kheng
 Mr. Wong Yoon Loong
- 参加者：7名
- 内容：①コンピュータの基礎知識
 ②エヴェレストD点字プリンタの操作講習
 ③ダクスベリ点訳ソフトウェアの講習
 ④点字出版所を運営するための実践的な情報
 ⑤マレーシアとキルギス共和国における視覚障害者のための仕事

Ⅲ《収益事業》

マンションの設置経営

2棟の賃貸マンション（総戸数34戸）を運営し、生じた収益は、社会福祉事業及び公益事業に充当した。

Ⅳ《本部事業》

1. 寄付・助成金の増収

(1) 毎年継続の寄付の発送依頼状に加え、新規寄付者獲得に努力した。

	平成28年度	平成27年度
新規寄付者	295名	853名
総件数	9,144件	10,150件

(2) ワンブック・プレゼント運動

点字図書	10件 41口	12件 51口
録音図書	13件 62口	16件 84口
シネマ・デイジー	1件 1口	

(3) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加し、店頭でご支援を呼びかけた。
実施店舗 イオン品川シーサイド店 10回

2. 日本点字図書館カード会員の拡大

見学者、チャリティ映画会・コンサート、「日本点字図書館オープンオフィス」来場者に対して加入勧奨のパンフレットを配布し、加入者の拡大を図った。

3. チャリティ映画会・コンサートの実施

(1) チャリティ映画会の開催

平成28年9月30日(木)なかのZERO小ホール
『ジャージー・ボーイズ』 来場者 267名

(2) チャリティコンサートの開催

第14回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート
平成28年12月18日(日)府中の森芸術劇場 どりーむホール
「コーラスの饗宴^{うたげ} 早慶歌合戦」 来場者 1,242名

4. 第13回本間一夫文化賞の贈呈

岩田美津子氏（特定非営利活動法人てんやく絵本ふれあい文庫代表）

5. 第23回にっぺん野路菊賞の贈呈

安田修氏（来館者見学対応及び募金等の奉仕）

6. 広報誌その他の活動

- ① 広報誌「にってんフォーラム」(年4回、各5,500部)を発行した。
- ② 「感謝録」(9,000部)を発行し、寄付者を中心に関係団体等に配布した。
- ③ 「事業案内」(8,000部)を発行し、寄付依頼に同封するとともに、関係者(団体)及び見学者、行事の参加者等に配布した。
- ④ ホームページから定期的に情報を発信した。訪問者数の合計350,147件、ページ閲覧数の合計909,722件
- ⑤ ツイッターによる情報発信を延べ627件おこない、フォロワー2,109名を獲得した。
- ⑥ 見学の受入 175件 888名

7. イベントの実施、他団体への協力

(1) 主催

① 日本点字図書館オープンオフィス

開催日時：平成28年11月12日(土)・13日(日)
12日

- ・第13回本間一夫文化賞贈呈式
講演「てんやく絵本と共に30年！」
岩田美津子氏(てんやく絵本ふれあい文庫代表)
- ・にってん野路菊賞贈呈式
- ・勇退奉仕者感謝状贈呈式
- ・ミニコンサート
小野リサ氏(ボサノヴァ・シンガー)
- ・トークイベント「異文化に触れる
～トークと香り、触覚、味覚、音楽と共に楽しむ世界旅行～」
秋沢淳子氏(TBSアナウンサー)

13日

- ・講演「視覚障害の皆さんから教わったこと」
迫田朋子氏(元NHK番組制作局チーフディレクター)
- ・講演「小説は何のためにあるか」
阿刀田高氏(作家・当館後援会長)

来場者数：延べ1,000名

協賛企業：花王株式会社、国稀酒造株式会社、株式会社タカラトミー、
三菱電機株式会社、ロクシタンジャパン株式会社

② 視覚障害者と支援者のための防災イベント

開催日時：平成29年1月14日(土)

防災グッズの販売、当事者向け応急手当体験、支援者向けガイドヘルプ体験、
起震車体験

講演：「震災の教訓は生きているか？」

講師：神屋郁子氏(福祉用具プラザ北九州歩行訓練士)

中村透(川崎市視覚障害者情報文化センター歩行訓練士)

- ③ DVD映画音声解説体験上映会「光と愛のシネマ」
12回 延べ参加数 545名

(2) 共催

- ① 国際視覚障害者囲碁大会 東京大会 (NPO法人日本福祉囲碁協会)
開催日時：平成28年6月25日(土)
参加数：39名
- ② とっておきのアイデアコンテスト (公益財団法人共用品推進機構)
応募作品：134作品
- ③ 盲人用具誕生50周年記念講演会・祝賀会 (日本盲人社会福祉施設協議会用具部会)
開催日時：平成28年11月24日(木)
・講演会 午後3時30分～5時
講演① 「盲人用具誕生を振り返って」
日本点字図書館用具部初代部長 花島弘
講演② 「近年の盲人用具について」
日本点字図書館館長 杉山雅章
・祝賀会 午後5時30分～7時30分

(3) 協力

- ① 「サイトワールド2016」ガイドボランティア講習会
(社会福祉法人日本盲人福祉委員会サイトワールド実行委員会)
開催回数：全2回
参加者：20名
- ② 第42回ラジオ・チャリティ・ミュージックソン (ニッポン放送)
開催日時：平成28年12月24日(土)・25日(日)
チャリティーイベントに参加し、見えない見えにくい人への理解を啓発した。
- ③ よむよむ・わくわく広場 in 足立区 (一般財団法人 出版文化産業振興財団)
開催日時：平成28年3月4日(土)
幼児・小学校低学年を対象にたくさんの絵本と出会う機会を啓発する活動で、図書館の事業を紹介。点字の絵本や音声の時計とともに盲人用具についても紹介した。
- ④ とつか地区協フェスタ (戸塚地区協議会)
開催日時：平成29年3月12日(日)
戸塚地区協議会の活動報告・意見交換会、及び戸塚地域福祉見本市にて、見えない見えにくい人への理解を啓発した。
- ⑤ 熊本地震における視覚障害被災者支援派遣協力 (日本盲人福祉委員会)
4月28日～5月2日まで職員3名を派遣した。
- ⑥ 就労移行支援としてのマッサージサポーター協力
(東京都視覚障害者生活支援センター)
開催回数：21回 (9月30日～3月24日いずれも金曜日、延べ37人)
マッサージ師として就労を希望している訓練生に、施術技術やコミュニケーション力の維持、向上のために実践の場を提供

8. についてんカルチャー講座の開催

「折り紙教室」「囲碁教室」「エスペラント語教室」「英会話教室」を実施した。

V《会議・研修・福利厚生》

1. 会議

(1) 理事会・評議員会の開催

- | | |
|--------|----|
| ① 理事会 | 5回 |
| ② 評議員会 | 4回 |

(2) 部課長会議・課長会議・グループリーダー会議の開催

- | | |
|--------------|-----|
| ① 部課長会議 | 12回 |
| ② 課長会議 | 7回 |
| ③ グループリーダー会議 | 12回 |

(3) 各委員会の開催

- | | |
|-------------------|-----|
| ① についてんフォーラム編集委員会 | 6回 |
| ② 教育委員会 | 3回 |
| ③ 福利厚生事業実行委員会 | 1回 |
| ④ ホームページ製作委員会 | 0回 |
| ⑤ 選書委員会 | 8回 |
| ⑥ 音声解説DVD上映委員会 | 12回 |
| ⑦ 施設公開実行委員会 | 5回 |
| ⑧ 安全衛生消防委員会 | 3回 |
| ⑨ チャリティ映画選考委員会 | 1回 |
| ⑩ 本間記念室整備委員会 | 5回 |
| ⑪ 国際委員会 | 0回 |
| ⑫ 電子書籍推進プロジェクト | 10回 |
| ⑬ 募金委員会 | 4回 |

2. 研修

(1) 表彰関係

- | | |
|---------------------|----------|
| ① 奉仕者（外部表彰） | |
| (ア) 東京都知事感謝 | 1名 |
| (イ) 東京都社会福祉協議会会長表彰 | 2名 |
| (ウ) 東京都社会福祉協議会会長感謝 | 1名、1グループ |
| (エ) 日本盲人社会福祉施設協議会表彰 | 2名 |

② 職員

(ア) 理事長表彰

永年勤続表彰	職員	2名
	パートタイマー	7名
感謝状		1グループ、1名
奨励賞		2グループ、1名
アイデア賞		1グループ、1名

(イ) 外部表彰

日本盲人社会福祉施設協議会（永年勤続）	1名
---------------------	----

(2) 職員研修

① 内部研修

- ・「管理者研修」平成28年10月5日（水）
講師：日本能率協会総合研究所 凌竜也氏 出席者 14名
- ・「誘導自主研修会」平成28年11月9日（水）
講師：川崎市視覚障害者情報文化センター職員 出席者 53名
- ・「ストレスチェックの結果とどう向き合うか！ ～ストレスとの付き合い方～」
平成29年2月3日（金）
講師：先端医療センター病院 診療部
再生治療ユニット 眼科 心理カウンセラー 田中桂子氏 出席者 28名
- ・人事考課の評価者対象の研修 平成29年3月29日（水）
講師：日本能率協会総合研究所 凌竜也氏 出席者 11名

② 外部主催研修 72件、延べ 133名（高田馬場40件84名、川崎32件49名）

③ 派遣研修

社会福祉法人日本ライトハウス養成部「平成28年度視覚障害生活訓練等指導者養成課程1年基礎I」へ1名を派遣

3. 福利厚生

- (1) 職員健康診断を94名（高田馬場82名、川崎12名）に実施した。
- (2) ストレスチェックを91名（高田馬場80名、川崎11名）に実施した。
- (3) 職員自主企画の福利厚生事業として、5グループ、延べ43名の事業が実施された。